

令和6年 3月22日
近畿教育オーディオロジー研究協議会
会長 赤木 瑞枝
(大阪府立中央聴覚支援学校長)

近畿教育オーディオロジー研究協議会 令和6年度入会のご案内

近畿地区の聾学校・難聴学級・通級指導教室などの教育機関が連携し、教育オーディオロジーについて研修及び研究を行う会員制（約200名）の研究会です。

「教育オーディオロジー」とは、聴覚障害児のきこえやコミュニケーションを援助する教育活動で、教育・医療・音響・工学・心理学・福祉など幅の広い領域にまたがる新しい学問として位置づけられます。

校種を越えて「教育オーディオロジー」やその周辺領域について、互いに学びあえる場として、また、学校間の連携をよりスムーズに図るために「講演会・研修会の開催」「機関紙の発行」「各種研究会との連携・協力」などの活動を行っています。

先生方の入会をお待ちしています。

1. 主旨

聴覚障害児教育における聴覚管理や補聴器フィッティング、聴覚学習などの教育活動を「教育オーディオロジー」として確立し発展させることを目的に、近畿地区の教育機関が連携し研修及び研究を行う。

2. 年会費2,000円（4月から翌年3月まで）

3. 活動内容

・講演会

夏の講演会・講習会（8月） 会員は参加費半額

秋の講演会（10月） 会員無料、会員外1000円

冬の学習会（1月） 会員無料、会員外1000円

・機関紙の発行 年4回（会員無料）

・集録の発行 年1回（会員無料）

・各種研究会との連携・協力

日本教育オーディオロジー研究会、北海道・関東・北陸・東海・中国・四国・九州地区の教育オーディオロジー研究協議会、近畿地区の難聴・言語の研究会など